

講談社の  
テレビ絵本  
1593

# プリキュアオールスターズ

おともだち  
よみきかせ  
絵本シリーズ28

## めいさく 名作えほん

# 1



きんの がちょう



くるみわりにんぎょう



プリキュアと一緒にめいさくのせかいへ!



本作品は、2014年6月、小社より講談社のテレビえほん（おともだち）として刊行されたものを電子書籍化したものです。

◎本電子書籍内の外部リンクに関して

ご利用の端末によっては、リンク機能が制限され正しく動作しない場合があります。また、リンク先のwebサイト、メールアドレス、電話番号は、事前のご連絡なく削除あるいは変更されることもございます。ご了承ください。

# プリキュアオールスターズ 名作えほん①

くるみわりにんぎょう

きんの がちょう

2016年3月1日発行

絵 東映アニメーション

構成 萩谷美可

デザイン バッドビーンズ

©ABC・東映アニメーション

発行者 清水保雅

発行所 株式会社 講談社

東京都文京区音羽 2-12-21

〒112-8001

©本電子書籍は、購入者個人の閲覧の目的のためにのみ、ファイルの閲覧が  
許諾されています。私的利用の範囲をこえる行為は著作権法上、禁じられて  
います。



♥おうちの方へ♥

お子さまの大好きなプリキュアたちが物語の登場人物になることで、お話をより身近に感じてもらえるでしょう。物語に興味をもったり、絵をながめながら文字を覚えたりすることによって、名作の世界に親しむきっかけにしてください。



きんの  
がちょう  
.....  
14

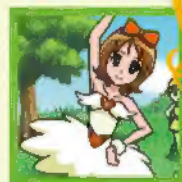


きんの  
がちょう  
.....  
14

いままがら

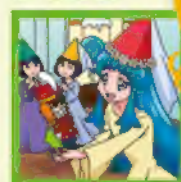
くるみわりにんぎょう

おかしの  
もりの  
ひつじかい



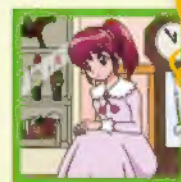
おおもり  
ゆうこ

くるみわり  
にんぎょうの  
いもうと



しらゆき  
ひめ

おんなの  
こ



あいの  
めぐみ

きんの がちょう

やどやの  
むすめ



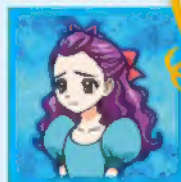
みなづき  
かれん

しろい  
ひげの  
こびと



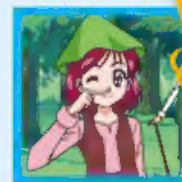
あきもと  
こまち

おひめさま



みみの  
くるみ

おとうとの  
きこり



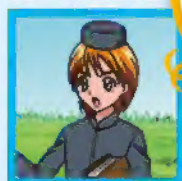
ゆめはら  
のぞみ

きょうかいの  
ばんにん



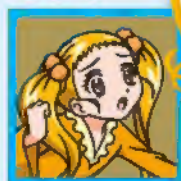
ゆきしろ  
ほのか

ぼくしさん



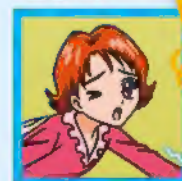
みすみ  
なぎさ

やどやの  
むすめ



かすがの  
うらら

やどやの  
むすめ



なつき  
りん

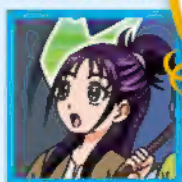


おうさま



ひゅうが  
さき

おひやく  
しょうさん



みしょう  
まい

おひやく  
しょうさん



くじょう  
ひかり

ひかわーいおな

いままがら おはなごの せがきく ころみー





# くるみわりにんぎょう



クリスマス<sup>クリスマス</sup>のよる。  
ツリー<sup>ツリー</sup>のしたには、  
たくさんのプレゼント<sup>プレゼント</sup>が  
ならびます。すてきな  
ようふくや おにんぎょう。  
でも、おんなのこが  
いちばんきにいったのは、  
きでできたぶかつこうな  
くるみわりにんぎょうでした。  
「これは、  
くるみわりにんぎょうだよ。  
くちにくるみをいれて、  
ぱちんとわるんだ。」  
おにいさんが  
そういって、おおきな  
くるみをおしこむと、  
にんぎょうのあごが  
ぱきんとこわれて  
しまいました。



「くるみわりさんが  
けがをしちゃった。」

おんなのこは、

くるみわりにんぎょうの

あごに ほつたいを まいて、

にんぎょうの ベッドに

ねかせ、とだなに いれました。

その ばん、おんなの こは

くるみわりにんぎょうが

きになつて みにいくと、

とけいが ちようと 十二じを

うちました。

ぼーん……。

その ときは、

「ちゅうちゅう ちゅう。」

となきながら、たくさんの

ねずみと ねずみの

おうさまが、

おんなの こに

とびかかって きたのです。







おんなの こが

よろけて、とだなの

ガラスに <sup>がらす</sup>ぶつかります。

がちゃん！

すると、こんどは

とだなの なかの

へいたいにんぎょうたちが、

「たいへんだ！

たいへんだ！」

と、うごきだしたのです。

「ねずみどもを

やっつける！」

おおごえで

さけんだのは、あの

くるみわりにんぎょうでは

ありませんか！

「いくぞー！」

へいたいにんぎょうたちが

ぞくぞくと ゆかに

どびおりて  
きました。





ねずみと にんぎょうの  
たたかいが はじまりました。  
「たいほうを うちこめー！」  
くるみわりにんぎょうが  
ごうれいを かけると、  
へいたいにんぎょうが  
こんぺいとうの たまを  
どーん と うちます。  
ねずみたちは さとうで  
こなだらけに なりながらも  
おそって きます。  
「にんぎょうの たいしょうを  
やっつける。ちゅうー！」  
しまいには、  
くるみわりにんぎょうが  
ねずみたちに とりかこまれて  
しまいました。





「くるみわりさんが あぶない！」

おんなの こは むちゅうで、

スリッパ<sup>すりっぱ</sup>を めいで、 ねずみの

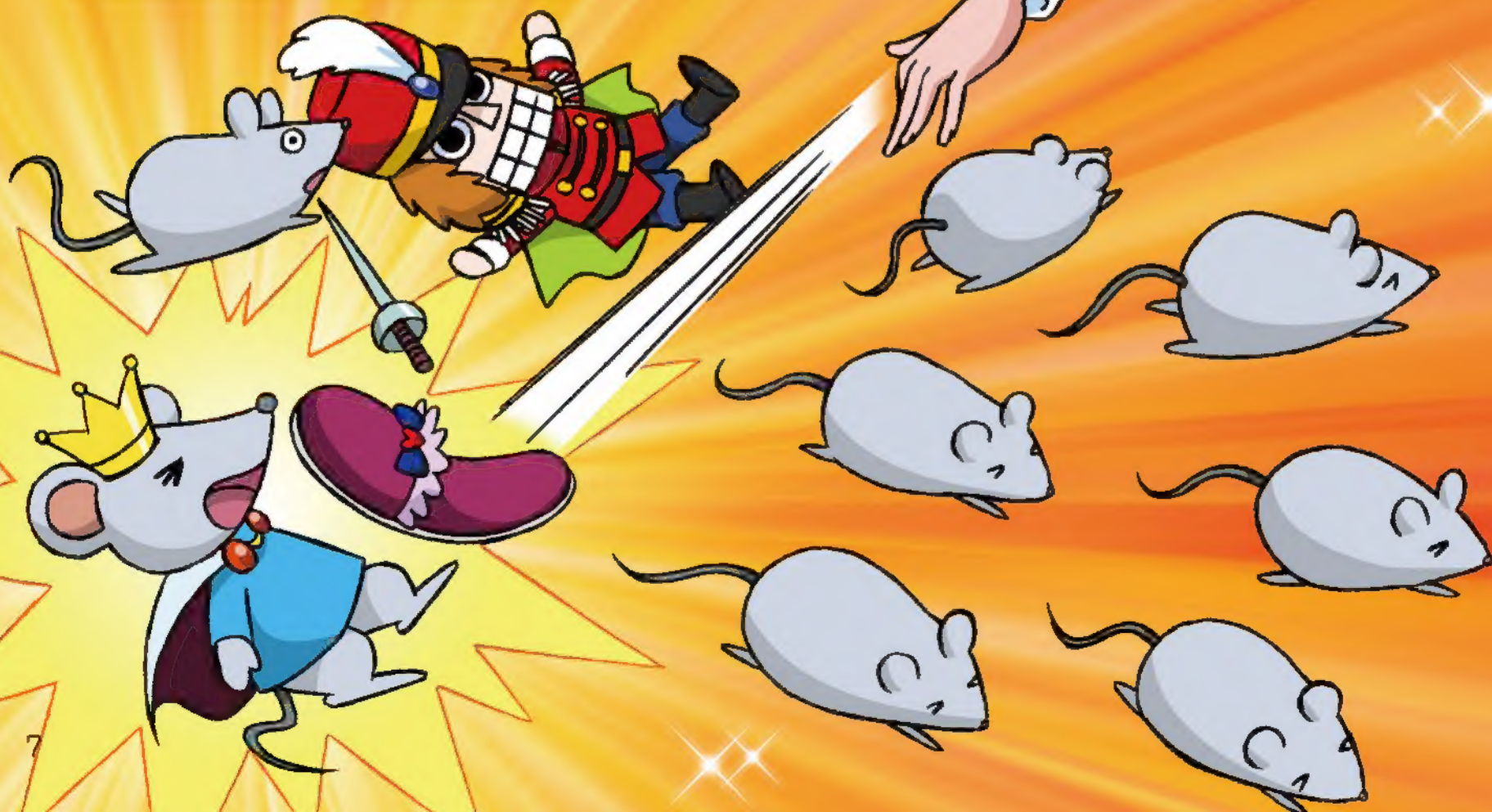
おうさまに なげつけました。

その とたん、ねずみたちと

にんぎょうたちが

ぱっと とびちり、おんなの こは

きを うしなって しまいました。





「おじょうさん。」

とよばれて

めを さますと、そばに  
くるみわりにんぎょうが  
たつて いました。

「ねずみどもを

やつつけられたのは、  
あなたの おかげです。

おれいに すてきなところへ

ごあんないします。」

すると、たんすから  
するするっと かいだんが

おりて きました。

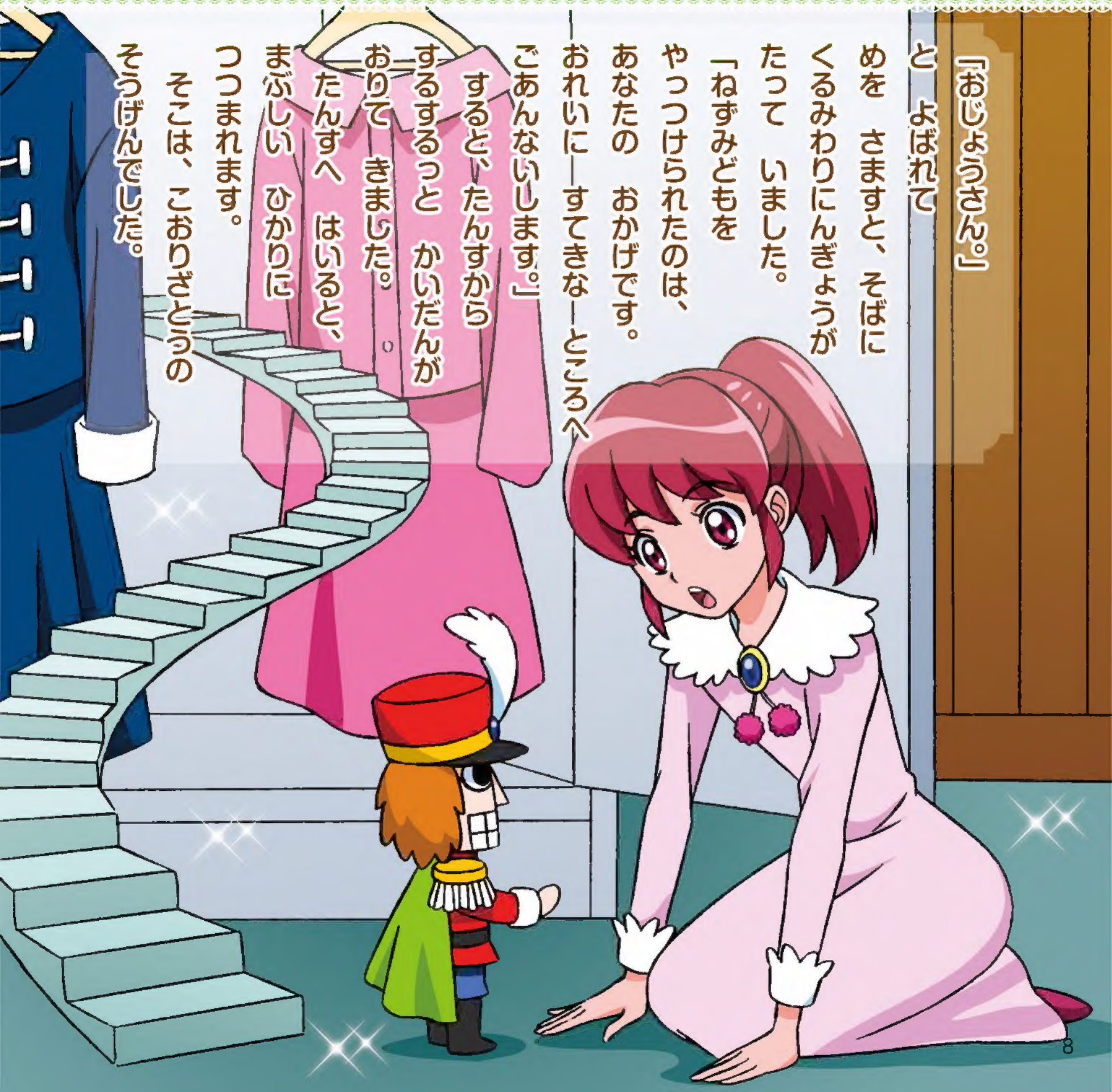
たんすへ はいると、

まぶしい ひかりに

つつまれます。

そこは、こおりざとりの

そうげんでした。







ひつじかいが あらわれて、  
すてきな バレエを おどつて  
たのしませて くれました。

おんなのこは、しあわせな  
きもちになりました。  
それから、

「なんて／＼きれいなんでしょう。」  
きのおだには、くだものが  
きらきらと ひかっています。

おかしの もりです。  
あまーい かおりが ただよう

さるたちの おんがくたいに  
であいました。

おかしで できた もんでは、  
ついて いきました。

おんなのこは くるみわり  
にんぎょうの うしろを







こんどは、かいがらで  
 できた ふねに のって、  
 オレンジジュースの  
 かわや、 ばらの はなの  
 みずうみを わたりました。  
 そして、  
 たどりついたのは、  
 おかしの くにでした。  
 へいたいにんぎょうたちが  
 くるみわりにんぎょうを  
 むかえます。  
 「おうじさま、  
 おかえりなさいませ。」  
 そう、  
 くるみわりにんぎょうは  
 おかしの くにの  
 おうじさまだったのです。



おんなのこを  
かんげいする  
うたや おどりが  
はじまります。  
「ここが おかじの  
おしろですよ。」  
チョコレートや  
さとうがしの  
かおりに つつまれた  
おしろへ はいると、  
かわいい けらいたちが  
むかえて くれます。  
そして、うつくしい  
おひめさまたちが  
あらわれました。  
「おにいさま！  
よく おかえりに  
なれました。」







「おじょうさんは、

わたしのいのちの

おんじんなのだよ。」

とくるみわりにんぎょうが

いうと、おひめさまたちは

よろこんで、

おれいに ごちそうを

よういして くれました。

きんや ぎんの

おさらにいまままで

みたこともない

おかじや くだものが

ならびます。

いい きもちに なった

おんなの こは、だんだん

めのまえが ぼんやり

して、ふたたび きを

うしなつてしまいました。



はつと めが さめると、  
おんなの こは じぶんの へやの  
ベッドに <sup>べっど</sup> なかされて いました。  
われた ガラスで <sup>がらす</sup> けがを して、  
ねつが でて いたのです。  
おかあさんに いままでの  
できごとを はなすと、  
「ながい ゆめを みて  
いたのね。」  
と いわれました。  
おかしの くにの けしきも、  
くるみわりにんぎょうの こえも、  
はつきりと おぼえて いるのに、  
おんなの こには それが ゆめか  
ほんとうか わかりませんでした。  
しって いるのは、  
くるみわりにんぎょうだけかも  
しれませんね。

(おわり)





# きんの がちよう



きこりの いえに  
ふたりの きょうだい  
いました。  
かしこい あには、  
おやに だいじに され、  
どじな おとうとは、  
ほったらかしに  
されて いました。

むかし、



ある ひ、あにが

きを きりに

いく ことに なりました。

おかあさんは たまごを

いれた おいしい ケーキと、

ワインを もたせました。

もりに はいると、

しろい ひげの こびとが

ちかづいて きて、

たべものを わけて ほしいと

おねがいしました。

「おまえに やつたら、たべものが

なくなる。とつとと きえろ！」

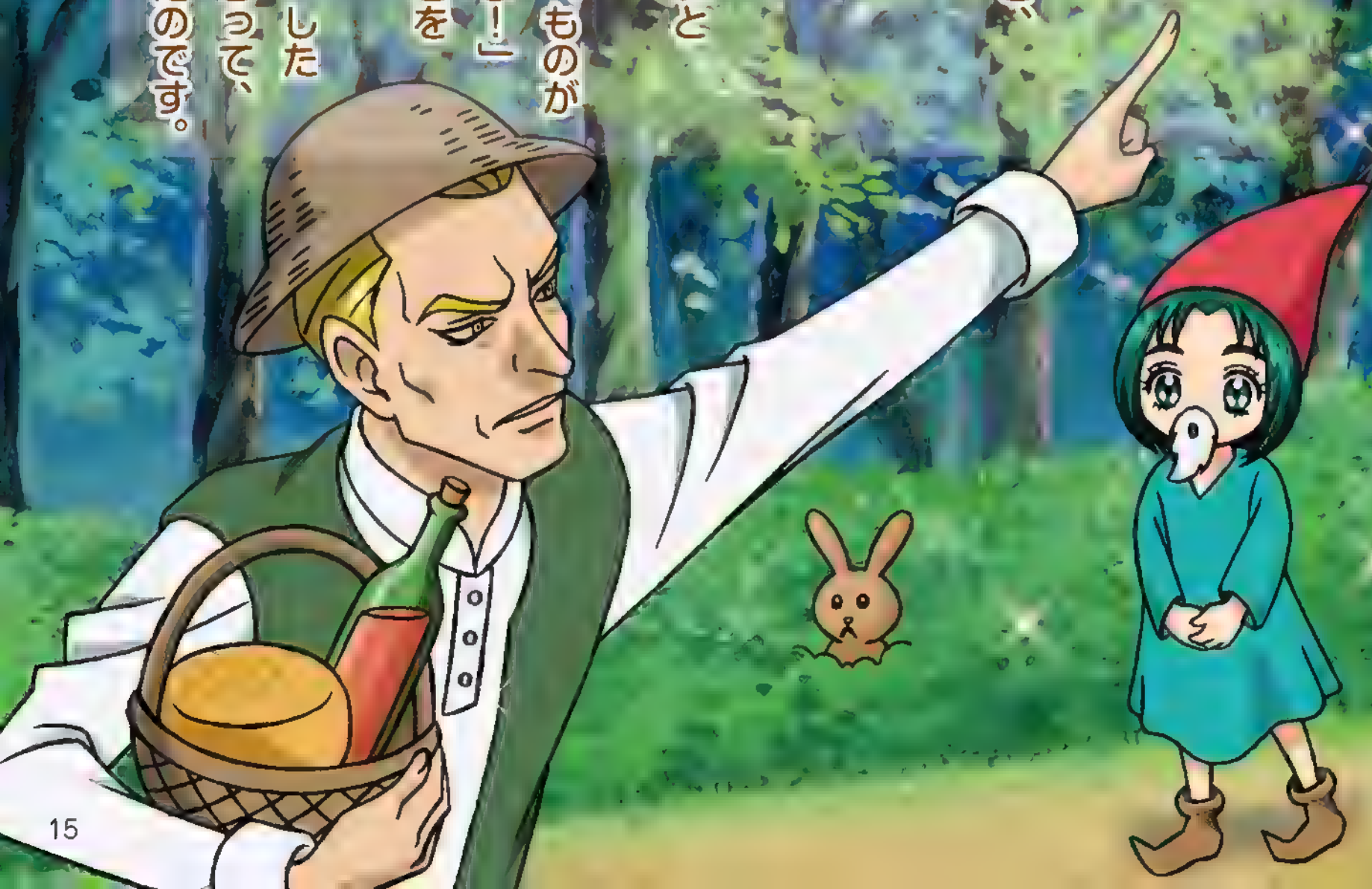
かしこい あには、こびとを

おいはらいました。

そして、きを きろうと した

とたん、なんと うでを きって、

おおけがを して しまったのです。







こんどは、おとうとが きを  
きりにいく ことになりました。  
おかあさんは たまご なしの  
ケーキと すっぱく なった  
ジュースを もたせました。  
もりへ はいると、しろい  
ひげの こびとが やって きて、  
「はらは ペこぺこ、のどは  
からからじゃ。たべものを  
わけて くだされ。」  
ど おとうとに たのみました。  
「おいしく ないと おもうけど、  
いっしょに たべよう。」  
そして、おとうとが ケーキを  
たべてみると、びっくり！  
ケーキは ふわふわで  
おいしく、ジュースも あまい  
かわって いたのです。



しろい ひげの

こびとが いいました。

「おまえさんは

しんせつじゃ。おれいに

しあわせを あげよう。

あの きを きって、

ねもとを

みて みなさい。」

おとうとが きを

きりたおして みると、

ねもとに 一いっわの

がちようが すわって

いたのです。

その はねは、

きんいろに かがやいて

いました。

その よる、がちようを

かかえた おとうとは、

やどやに とまる

ことに しました。





やどやの 三にんの

むすめたちは、

きんの がちょうに

みとれて

しまいました。

一ばん うえの

あねは、

きんの はねが

一まい ほしくて、

よなかに こっそり

ひきぬこうと

しました。

ところが、はねを

つかんだ とたん、

てが ぴったりと

がちょうに

くっついて

しまったのです。







ニばんめの あねも  
きんのはねが  
ほしくて、ちかづきます。  
そして、  
うえの あねに  
さわって みると、  
たちまち くつついて  
しまいました。  
したの いもうとは  
なかまに なりたくて、  
あねに さわった  
とたん、  
ぴったり くつついて  
しまいました。  
こう して、三<sup>さん</sup>にんの  
むすめたちは  
くつついた まま、  
よるをすごしました。



つぎの あさ、  
おとうとの  
きこりは  
がちょうを  
かかえて  
やどやを  
でました。  
むすめたちが  
がちょうに  
くつついて、あとを  
ついて いようが  
おかまいなしです。  
むすめたちは  
みぎへ ひだりへ  
よろよろしながら  
くつついて  
あるくしか  
ありません。







のはらの むこうから、

ぼくさんが

やって きて、

「むすめたち、はずかしい

ことは やめなさい！」

と、 おこりました。

でも、むすめたちを

ひきはなそうと した

とたん、ぼくさんも

くつついて しまいました。

きょうかいの

ばんにんも やって きて、

「ぼくさん、どうへ

いきなさる？」

と いって、ぼくさんの

かたを つかんだ とたん、

すっかり くつついて

しまいました。





ほくしさんは、ふたりの  
おひやくしょうさんに  
じぶんたちを ひきはなして  
ほしいと たのみました。  
けれども、やはり  
ふたりも ぴったり  
くつついて、しまいました。  
こう して、がちょうに  
つながった 七しちにんが  
よろよと あるき、  
みやこへ たどりつきました。





おしろには、  
きまじめすぎて  
一ども わらった  
ことが ない  
おひめさまが  
いました。  
しんぱいした  
おうさまは、ひめを  
わらわせた ものを  
ひめの むこに すると、  
おふれを いただきました。  
おとうどの きこりは、  
おしろに いうて  
みる ことに しました。





おひめさまは、

がちょうの あとを

よろよろと あるく

ぎょうれつを みて、

おおわらい！

おかしくて わらいが

とまりません。

こう して、どじな

おとうとの きごりは、

おひめさまと

しあわせに くらす

ことが できました。

きんの がちょうは、

しろい ひげの

こびとの おんがえし

だったのですね。

(おわり)



おはなしの なかで かつやくした おんなの こが プリキュアに  
へんしんよ! だれが どの プリキュアに へんしんするのがしろ?

おはなしの  
なかで



おはなしの せかいから もどってこ ねだみー!



ぷりきゅあが おはなしの  
しゅじんこうになるよ!



## 名作えほんシリーズ



### プリキュアオールスターズ 名作えほん①

くるみわりにんぎょう きんの がちょう

- ♥ハピネスチャージプリキュア!
- ♥Yes! プリキュア5 Go Go!
- ♥ふたりは プリキュア スプラッシュスター
- ♥ふたりは プリキュア マックスハート



### プリキュアオールスターズ 名作えほん②

おおきな かぶ しらゆきひめ

- ♥ドキドキ!プリキュア
- ♥スイートプリキュア♪
- ♥フレッシュプリキュア!
- ♥ハピネスチャージプリキュア!



### プリキュアオールスターズ 名作えほん③

にんぎょひめ こびとの くつや

- ♥スマイルプリキュア!
- ♥ハートキャッチプリキュア!
- ♥ハピネスチャージプリキュア!

ぷりきゅあが  
ぜんいん  
とうじょう!

講談社のテレビ絵本 1593

おともだち よみきかせ絵本シリーズ28

## プリキュアオールスターズ 名作えほん①

くるみわりにんぎょう きんの がちょう

2014年6月30日 第1刷発行

■発行者 持田克己  
■発行所 株式会社 講談社  
東京都文京区音羽2-12-21(〒112-8001)

■印刷・製本/図書印刷株式会社  
■絵/東映アニメーション  
■構成/萩谷美可 ■デザイン/パッドピーズ

©ABC・東映アニメーション

Printed in Japan

落丁本・乱丁本は、購入書店名を明記のうえ、小社業務部(電話03-5395-3603)あてにお送りください。  
送料小社負担にてお取り替えいたします。なお、この本についてのお問い合わせは、プレススクール第二出版部(おともだち)あてにお願いいたします。本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することはたとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

※予想外の事故(紙の端で手や指を傷つける等)防止のため、保護者の方は書籍の取り扱いにご注意ください。

雑誌 64002-79

ISBN978-4-06-344593-0

C9474